

## 明石市第5次地域福祉計画 アンケート調査結果（概要）

調査期間	令和7年（2025年）5月1日～5月31日
調査対象	地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、明石市社会福祉協議会理事・監事・評議員、ボランティアサポート協議会
調査方法	対象団体の会議等に出向き、構成員への調査協力を依頼。回答は調査票の郵送及びオンラインを併用。
回収状況	回答者数 381 件

## ○年齢構成について

70代が184名（48.3%）と最も多く、次いで60代の102名（26.8%）、50代の38名（10.0%）となっています。

## ○現在、行っている地域活動について

最も多かったのは「高齢の方に対する活動（集いの場、見守り訪問、電話等での確認等）」の179名（31.0%）で、次いで「自治会・町内会活動」の177名（29.6%）、「地域で実施されるイベント等への協力」の163名（28.2%）となっています。

## ○関心が高いボランティア活動について

最も多かったのは「居場所、見守りなど身近な地域活動に関する活動」の183名（48.0%）で、次いで「保険、医療、福祉の増進を図る活動（高齢、障がい、子どもの健全育成、困窮等）」の66名（17.3%）、「災害時に関する活動」の61名（16.0%）となっています。

## ○「地域」という言葉で思い浮かべる範囲について

最も多かったのは「自治会・町内会」の157名（45.2%）で、次いで「小学校区」の116名（33.4%）となっています。

## ○近所付き合いの程度について

最も多かったのは「顔を合わせたら世間話や立ち話をする」の180名（50.4%）で、次いで「顔を合わせたらあいさつ程度する」の105名（29.4%）となっています。

## ○理想的な近所付き合いの程度について

最も多かったのは「顔を合わせたら世間話や立ち話ができる」の165

名（46.1%）で、次いで「困りごと等を助け合える」の140名（39.1%）となっています。

#### ○地域活動をして良かったことについて

最も多かったのは「さまざまな人と接することができる」の238名（27.3%）で、次いで「地域のお役に立てる」の153名（17.7%）、「友達、仲間づくりができる」の120名（13.9%）、「活動が楽しい」の119名（13.8%）となっています。

#### ○地域活動に対する思いについて

最も多かったのは「一部の人だけの活動になっている」の154名（44.6%）で、次いで「まあまあ充実している」の145名（42.0%）となっています。

#### ○地域活動で必要と思う取組について

最も多かったのは「気軽に活動に参加できる」の175名（54.7%）で、次いで「活動者同士の交流・つながり」の47名（14.7%）となっています。

#### ○今後、地域活動を継続していくために必要なサポートについて

最も多かったのは「若い世代が活動に参加できる機会づくり」の144名（44.9%）で、次いで「身近な場所で集え、気軽に相談ができる場所や機会の整備」の61名（19.0%）となっています。

#### ○ここ5年間における地域福祉の推進及び向上に向けての取組に対する評価について

「みんなで支える子育て支援の推進」「みんなの居場所づくりや社会参加の充実」「認知症の人と家族への支援の充実」「助け合う・支え合う意識を高める機会の充実」「防犯・防災活動の推進」の項目について、他の項目と比べ向上したとする評価が多くなっています。

一方、「新たな活動の参加と育成」「権利擁護の取り組みの推進」「更生支援及び再犯防止の取り組みの推進」「困難を抱える人への寄り添い支援と孤立・孤独対策」「相談・支援体制の充実」の項目について、他の項目と比べ低下したとする評価が多くなっています。

#### ○地域福祉活動を進める中で負担に感じることについて

最も多かったのは「同じメンバーでの活動が多い」の145名（48.2%）で、次いで「負担は感じない」の43名（14.3%）、「打合せ、会議等が多い」の41名（13.6%）となっています。

主な意見（自由記載欄）

項目	主な意見	対応する計画の項目
地域福祉のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域に集える場を作る取組が必要である。</li> <li>高齢者を元気にさせる取組が必要である。</li> <li>障害者アートを、健常者も大人も子どもも一緒に楽しむワークショップを地元で開催したい。</li> <li>地域の人が気軽に話ができる居場所を作り、いつでも話ができるようにしたい。</li> </ul>	(P37) 基本目標2 施策2 (P28) 基本目標1 施策2 (P36) 基本目標2 施策1 (P28) 基本目標1 施策2 (P37) 基本目標2 施策2
人材育成、若い世代について	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い人が参加できる機会を地域で考えていきたい。</li> <li>若い世代がボランティア活動に気軽に参加し、助け合える地域になれば良いと思う。</li> </ul>	(P39) 基本目標2 施策4 (P36) 基本目標2 施策1
自治会・町内会について	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会組織への加入者減少、子ども会の解散、高年クラブの会員減少、P T A組織の解散等、従来の組織のあり方ではやつていけない時期にきている。</li> <li>自治会役員や民生委員・児童委員等、引き受けてくれる人が少なく、人選に困っている。</li> </ul>	(P39) 基本目標2 施策4 (P36) 基本目標2 施策1

明石市の施策について	<ul style="list-style-type: none"><li>・介護保険や認知症に対する施策はずいぶん浸透したと思う。</li><li>・地域の行事や集まりに新しいメンバーが増えない。</li><li>・情報を本当に必要としている人に届ける工夫を考えていくことが必要である。</li></ul>	<p>(P32) 基本目標1 施策4</p> <p>(P36) 基本目標2 施策1</p> <p>(P39) 基本目標2 施策4</p> <p>(P26) 基本目標1 施策1</p>
------------	--	---